令和4年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立飛驒高山高等学校通信制課程 学校番号 5813

I 自己評価

1	学校教育目標	(1) 「快活」「友愛」「創造」	を校訓とし、心身ともに健やかで、。	より豊かな人間性と「生きる力」	
		を備えた生徒の育成を目指す。			
		(2) 社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身に付け			
		させるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う。			
2	スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』		『どんな生徒を待っているか』	
		グラデュエーション・ポリシー (GP)	カリキュラム・ポリシー(CP)	アドミッション・ポリシー (AP)	
		・豊かな思考力と適切な判断力を	・課題の発見・解決能力を伸長す	・向上心と、多様性を尊重する姿	
		身に付け、周囲と協働できる生徒	るための「主体的・探究的な学び	勢を持ち、周囲と協働しながら主	
		・互いの人格を尊重し、周囲と交	」の面接指導を推進	体的に学ぶ意欲を持つ生徒	
		流しながら、自らの役割と責任を	・「思考」「判断」「表現」の力	・自らの目標や希望を実現するた	
		果たせる生徒	を伸長し適切に評価するレポート	めに、主体的に学ぶ意欲のある生	
		・郷土を愛し、地域の発展のため	課題の作成	徒	
		に地域や社会に貢献できる生徒	・生徒の個性や長所を伸ばすため	・生徒会活動や学校行事及び他校	
			のカリキュラム編成と個に応じた	との交流などに自主的に参加し、	
			細やかな指導の実施	周囲とのより良い人間関係を築い	
				ていく意欲のある生徒	

3 評価する領域・分野	◇ 進路指導			
4 現状、生徒及び保護者等を 対象とするアンケートの 結果分析等	ほとんどの項目1項目においてのパーセントか今回のアンケー	目において肯定的評価が増えた。 「どちらでもない」が増えことに が相対的には減っているが、実数で -トの結果だけでなく、ほかのアン らと思われる保護者が一定数おり、	ごは増えている。 /ケートでも進路に	
5 今年度の具体的かつ明確な 重点目標		現・職業観を形成させて、社会的自 设計ができるように指導し、卒業後		
6 重点目標を達成するための ・分掌の主担当者を中心として、全職員が共通理解の上取り組む。 校内における組織体制				
7 目標の達成に必要な具体的な	取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標		
(1) 外部講師による進路講話 進路ガイダンスを実施し 護者の進路意識を高める。 (2) 面接指導(スクーリング)	て、生徒及び保	(1) 生徒及び保護者を対象とするアンケート (2) 生徒就業状況及び進路希望調査		
等を通して、自己の能力に気付かせるとともに、 を提供する。 (3) 随時、進路相談を行って 路希望を把握し、学力補 ど、卒業後の進路を見据 応じて実施する。	・適性や可能性 適時に進路情報 就労の実態や進 充・面接指導な	(3) 進路先決定状況		
9 取組状況・実践内容等		10 評価視点	11 評 価	
・生徒就業状況及び進路希望調査 把握に努めた。		①生徒の実態把握と情報提供は 十分にできたか。	A B C D	
・進路説明会、個別の学力補充、 接指導を実施した。		②個々の進路希望に応じた適切 な支援ができたか。	(A) B C D	
・外部講師による進路講話及び職 イダンスを実施した。	員による進路ガ	③進路関係についての認識が深 まったか	A (B) C D	
12 ○卒業予定者を対象に、具体的な学習指導、面接練習、志望理由書、履歴書等成 の添削指導と個別面談を繰り返し実施し成果を上げることができた。就職希 総 合 評 価果 望者についてハローワークとも連携して指導・支援した。 ・ ○外部講師による進路講話及び職員による進路ガイダンスを実施し、生徒、保 A B C D 課 護者に有益な情報を提供することができた。				

- 題 ▲自己肯定感が低く、卒業後の進路に関して「新たな一歩」を踏み出すことが 難しい生徒が多い。具体的な進路目標の設定、能動的な進路決定、そして進 路実現ができるように、適切な指導や方法の工夫が課題である。
 - ▲進路に強い不安のあると思われる保護者が一定数おり、微増傾向にある。

13 来年度に向けての改善方策案

- ・自己肯定感の低い生徒や、多様な生育状況・家庭環境を持った生徒の進路実現に向けて、最善の支援が行えるように、全職員の共通理解によって個々の生徒の状況や日頃の様子に注意を払い、進路 指導に活用する。
- ・飛驒通信やホームページへの掲載を通じて、保護者への進路に関する情報提供をより充実させる。
- ・面接指導や小論文指導をより充実させるため、通信制の職員がチームとして対応できるようにしたい。

Ⅱ 学校関係者評価

実施年月日:令和5年1月27日

【意見・要望・評価等】

- ・今後も生徒個々の特徴を理解し、親身に指導していただきたい。
- ・地元企業の活性化を望む。生徒の可能性を伸ばす支援をお願いしたい。
- ・入学理由が様々な生徒への進路指導は大変難しいことであるが、丁寧な指導の継続をお願いしたい。
- ・自己肯定感の低い生徒、複雑な事情を抱えた生徒への自己理解を促し、進路意識を高める指導をお願いしたい。